

(9)過去の調査結果、他都市の調査結果との比較

以下には、過去の本市の事業系ごみの組成、資源化可能物の混入状況について整理した。また、他都市の調査結果として堺市、京都市の調査結果と比較した。ただし、本市の調査結果は、特定建築物に該当する事業所を対象としており、堺市や京都市の調査対象事業所と、ごみ減量のための事業所の体制も異なり、一律にごみ組成や資源化可能物の混入状況を比較することはできない。

事業系ごみのごみ組成の比較を表9に、また、資源化可能物の混入状況の比較を表10に整理した。

本市の今年度調査の調査対象事業所は、廃棄物管理責任者によりごみの減量に取り組まれている事業所であり、堺市や京都市の調査のように、従業員規模の小さな事業所を調査対象としていない。事業系ごみ中の資源化可能な古紙類の割合は約8%(重量比)であり、京都市の約7%と近い値になっている。資源化可能物の割合も堺市よりも大幅に低く京都市の値と近くなっている。厨芥類を含む資源化可能物等の割合も他都市とほぼ同程度であるため事業者への啓発が進んでいることがうかがえる。今後とも調査を重ね実態を把握し、事業系ごみの減量推進に向けた取り組みをしていく必要がある。

表9 類似の調査手法により実施した過去及び他都市の調査結果との比較

		大阪市（特定建築物を対象に調査）				堺市		京都市	
		今年度調査結果		令和3年度調査結果		令和元年度調査結果		令和元年度調査結果	
		重量 (%)	容積 (%)	重量 (%)	容積 (%)	重量 (%)	容積 (%)	重量 (%)	容積 (%)
組成	紙類	25.5	43.6	43.8	59.9	39.3	43.8	29.2	41.2
	プラスチック類	12.0	34.3	11.7	26.0	12.5	37.2	12.8	36.9
	繊維類	3.8	3.2	4.9	3.0	3.1	2.2	2.4	2.1
	ゴム類	0.7	0.6	0.4	0.2	0.7	0.4	0.7	0.5
	皮革類	0.3	0.3	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	0.1
	ガラス類	0.3	0.1	0.2	0.0	0.6	0.3	0.3	0.1
	金属類	1.1	2.0	1.6	1.3	1.8	2.4	1.4	1.9
	陶磁器類	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	厨芥類(流出水分等含む)	51.9	12.6	32.9	7.7	30.2	5.2	48.9	14.3
	木片類	2.2	2.4	1.3	0.9	1.1	0.7	1.7	1.9
	草木類	0.2	0.2	0.7	0.5	8.3	6.9	0.4	0.3
	その他	1.9	0.7	2.4	0.5	2.3	0.8	2.0	0.7
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

注) 大阪市の令和3年度調査は、事務所ビル、店舗ビル、ホテル・旅館、集会場・劇場・娯楽場、学校・図書館・研修所、製造工場・倉庫と多くの業種を対象に調査を実施しているが、今年度調査は、特定建築物のうち一般廃棄物(再生資源化物は含まず)を月量10t以上排出する事務所ビル、店舗ビルを対象としている。

出典:「事業系一般廃棄物排出実態調査報告書」(堺市 R2.3)、「業者収集ごみ組成実態調査報告書」(京都市) (京都市 R2.3)

表 10 類似の調査手法により実施した過去

及び他都市の調査結果との資源化可能物の混入状況の比較

		大阪市（特定建築物を対象に調査）				堺市		京都市	
		今年度調査結果		令和3年度調査結果		令和元年度調査結果		令和元年度調査結果	
		重量 (%)	容積 (%)	重量 (%)	容積 (%)	重量 (%)	容積 (%)	重量 (%)	容積 (%)
古紙類計	新聞・雑誌・段ボール等従来からの古紙	0.9	1.3	2.4	1.8	10.3	10.3	2.2	2.7
	雑がみ(紙製容器包装、OA紙、パンフレット等)	7.0	15.7	18.5	25.6	11.9	15.3	5.0	12.2
		7.9	17.0	20.9	27.4	22.2	25.6	7.2	14.9
プラス	ト口箱	0.0	0.0	0.0	0.1	-	-	0.0	0.0
チック類	ペットボトル（飲料・醤油・みりん）	0.2	0.8	0.2	0.9	-	-	0.6	3.3
	小計	0.2	0.8	0.2	1.0	-	-	0.6	3.3
古布類		0.2	0.2	0.1	0.1	0.8	0.6	0.2	0.1
びん類（飲料、食品・調味料）		0.2	0.1	0.2	0.0	-	-	0.1	0.0
缶類（飲料、食品・調味料）、金属製品等		0.2	0.2	0.5	0.3	-	-	0.4	0.7
草木類		-	-	-	-	8.3	6.9	-	-
資源化可能物 合計		8.7	18.3	21.9	28.8	31.3	33.1	8.5	19.0
厨芥類	加工原料くず・製品くず等	28.6	7.1	15.3	4.2	14.9	2.6	23.7	7.2
	調理期間切れ・売れ残りの食料品等	8.6	2.7	12.7	3.0	5.8	1.7	9.9	4.4
	一般厨芥類	14.3	2.7	5.0	0.5	9.3	0.8	15.3	2.1
堆肥化等可能物（バイオマス資源） 合計		51.5	12.5	33.0	7.7	30.0	5.1	48.9	14.3
資源化可能物等 合計（厨芥類含む）		60.2	30.8	54.9	36.5	61.3	38.2	57.4	33.3

注 1) 大阪市の令和3年度調査は、事務所ビル、店舗ビル、ホテル・旅館、集会場・劇場・娯楽場、学校・図書館・研修所、製造工場・倉庫と多くの業種を対象に調査を実施しているが、今年度調査は、特定建築物のうち一般廃棄物（再生資源化物は含まず）を月量10t以上排出する事務所ビル、店舗ビルを対象としている。

2) 茶殻・コーヒー殻等は加工原料くず・製品くず等を含めている。また、流出水分などは一般厨芥類に含めている。

3) 堺市はプラスチック類は産業廃棄物として資源化にはカウントしていない。また、草木類を資源化対象としている。
出典：「事業系一般廃棄物排出実態調査報告書」（堺市 R2.3）、「業者収集ごみ組成実態調査報告書」（京都市）（京都市 R2.3）